

**問1** 日本の近代史において、1872年の新橋・横浜間における鉄道の開通や、富岡製糸場の操業開始といった出来事は、当時の政府がある目的を達成するために進めた事業の一部です。これらの事業が共通して目指していた、当時の国家方針の説明として最も適切なものはどれですか。（2023年 山形公立入試 類似）

1. 官営工場や交通網の整備を通じて近代的産業を育成し、国の経済力を高める。
2. 西洋の生活様式や文化を積極的に取り入れることで、社会の仕組みを近代化する。
3. 土地の所有権と地価を確定させ、現金で税を徴収することで政府の財政を安定させる。
4. 封建的な身分制度を廃止し、四民平等の理念のもとに国民を統合する。

**問2** 日露戦争中に発表された詩「君死にたまふことなかれ」の一節には、「親のなさは勝りしも、戦（たたか）ひに人を殺せと、をしへしや（教えたでしょうか、いや教えてはいません）」という内容が含まれています。この詩が当時の社会において画期的であった理由として、最も適切な説明はどれですか。（2017年 三重公立入試 類似）

1. 国家のために命を捧げることが美德とされた時代に、個人の生命や家族の絆の重要性を主張したから。
2. 日露戦争の開戦に賛成する立場から、戦場での武勲を立てるよう家族に激励を送ったから。
3. 欧米の進んだ軍事技術を導入することで、戦争による犠牲者を減らすべきだと提案したから。
4. 女性も積極的に戦場へ赴き、男性と同様に戦うべきだとする男女平等の思想を広めたから。

**問3** 明治政府が鹿鳴館を建設して舞踏会を開くなど、欧米の生活様式を取り入れる「欧化政策」を一時的に進めた目的を説明したものととして、最も適切なものはどれですか。（2019年 福島県公立入試 類似）

1. 日本が近代的な法制や文化を持つ文明国であることを示し、条約改正を有利に進めるため
2. 欧米諸国からの観光客を誘致し、日本を観光大国にするためのインフラを整えるため
3. 伝統的な武士の文化を完全に排除し、キリスト教を国教化するための準備を行うため
4. 清や朝鮮に対して日本が優位であることを誇示し、アジアの盟主として認めさせるため

**問4** 明治時代後半、産業革命の進展にともない、製糸業や紡績業の工場では女性や子供が不衛生な環境で深夜まで働かされるといった深刻な事態が起きました。このような過酷な労働環境を改善し、労働者を保護するために1911年に制定された、日本で最初の法律は何ですか。（2024年 群馬公立入試 類似）

1. 工場法
2. 治安維持法
3. 独占禁止法
4. 労働基準法

**問5** 1880年代後半から1890年代にかけての日本の貿易統計において、生産量の急増や機械化による大量生産を背景に、1897年に輸出品が輸入品を上回ることとなった製品はどれですか。（2023年 福島県公立入試 類似）

1. 綿糸
2. 生糸
3. 鉄鋼
4. セメント

**問6** 1874年に板垣退助らが提出した「民撰議院設立白書（建白書）」において、当時の明治政府に対して行われた主な主張として、最も適切なものはどれですか。（2020年 福島県公立入試 類似）

1. 薩摩藩や長州藩などの一部の藩の出身者が権力を独占する「藩閥政治」を批判し、国民が選んだ議員による議会の開設を求めた。
2. 大日本帝国憲法の草案を作成するために、ヨーロッパ諸国の憲法を調査するための使節団を派遣することを政府に求めた。
3. 内閣制度を創設することで、天皇を補佐する行政機関の権限を強化し、近代的な国家体制を整えるよう提案した。
4. 国会開設の勅諭が出されたことを受け、10年後の議会開設に向けて自由党や立憲改進黨などの政党を結成することを宣言した

**問7** 日露戦争の講和会議において、日本政府が多額の戦費を投じたにもかかわらず、最終的に相手国から「賠償金」を獲得できなかったことが、その後の日本の社会情勢にどのような影響を与えましたか。その経緯として正しいものを選択してください。

（2023年 山口公立入試 類似）

1. 増税や戦費の負担に耐えてきた国民が、期待していた見返りが得られなかったことに憤り、日比谷焼き打ち事件などの大規模な暴動を引き起こした。
2. 講和内容をめぐって軍部と政府の対立が激化し、軍部大臣現役武官制を利用して内閣を総辞職に追い込む運動が全国で展開された。
3. 賠償金が得られない代わりに満州の利権を独占したことで、アメリカやイギリスとの関係が急速に悪化し、国際連盟からの脱退を余儀なくされた。
4. 多額の借金を抱えた日本政府は、財政を立て直すために地租改正を行い、土地の所有者に地券を発行して納税義務を課した。

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 官営工場や交通網の整備を通じて近代 産業を育成し、国の経済力を高める。	1872年に鉄道が開通したり富岡製糸場が作られたりしたのは、政府が主導して近代的な産業を育てる「殖産興業」の一環です。当時の政府は、欧米の列強に追いつくために軍事力と経済力を強化する「富国強兵」を最優先課題としていました。そのためには、まず輸送手段や通信手段を確保し、さらに輸出品となる高品質な生糸などを生産できる工場を国が手本として運営する必要があったのです。
問2	<b>答え 1</b> 国家のために命を捧げることが美徳と された時代に、個人の生命や家族の絆の重 要性を主張したから。	当時の日本では、日露戦争を勝ち抜くために「国のために死ぬこと」を名誉とする価値観が強調されていました。その中で、与謝野晶子は「親は人を殺すために君を育てたのではない」と説き、国家の論理よりも個人の生や家族の感情を優先させたため、大きな反響とともに批判も浴びることとなりました。
問3	<b>答え 1</b> 日本が近代的な法制や文化を持つ文明国 であることを示し、条約改正を有利に進 めるため	当時の欧米諸国は、日本が「文明国」ではないことを理由に条約改正を拒んでいました。そのため明治政府は、欧米風の社交場である鹿鳴館を建設するなどして、日本が近代化された国家であることをアピールし、不平等条約を改正して対等な関係を築こうとしました。これと並行して、近代的な法典の整備も急ピッチで進められました。
問4	<b>答え 1</b> 工場法	産業革命が進むにつれて、特に軽工業の分野で年少者や女性労働者による長時間労働が大きな社会問題となりました。これを受けて、国家として労働力を維持し、社会不安を解消する目的で制定されたのが工場法です。なお、戦後の1947年には、より包括的な「労働基準法」が制定されています。
問5	<b>答え 1</b> 綿糸	日本の産業革命は軽工業から始まり、特に大阪などの大都市で大規模な紡績工場が建設されたことで、蒸気機関を用いた機械による大量生産が実現しました。これにより、1890年には輸出が開始され、1897年にはそれまで輸入に頼っていた状況を脱して、輸出量が輸入量を上回るようになりました。これに対し、生糸は幕末から明治維新後にかけて一貫して日本の主要な輸出目玉商品でしたが、原料を蚕からとる伝統的な産業としての側面が強いものでした。
問6	<b>答え 1</b> 薩摩藩や長州藩などの一部の藩の出身者 が権力を独占する「藩閥政治」を批判 し、国民が選んだ議員による議会の開設 を求めた。	明治初期の政府は、特定の藩の出身者が政治の実権を握る「藩閥政治」を行っていました。これに対し、板垣退助らは民撰議院設立白書（建白書）を提出し、広く国民の意見を反映させる議会の必要性を訴えました。これが自由民権運動の始まりとなりました。
問7	<b>答え 1</b> 増税や戦費の負担に耐えてきた国民が、 期待していた見返りが得られなかったこ とに憤り、日比谷焼き打ち事件などの大 規模な暴動を引き起こした。	日露戦争中、日本国民は戦費をまかなうための増税や公債の引き受け、そして戦場への動員という重い負担を強いられていました。国民は勝利による「賠償金」でこれらの負担が軽減されることを期待していましたが、ポーツマス条約でそれが否定されたため、政府に対する激しい怒りが爆発しました。この国民の不満は、日比谷焼き打ち事件という形で表れ、当時の桂太郎内閣を退陣に追い込む要因の一つとなりました。このように、対外的な戦争の結果が国内の政治や社会を不安定にさせた代表的な事例です。